

第 51 回東京実技セミナー 開催報告



開催日:2017年8月6日(日)

時間:10時~17時

開催場所:ラックヘルスケア株式会社 東京オフィス

主催:NPO 法人 口から食べる幸せを守る会®

共催:ラックヘルスケア株式会社

後援:株式会社クリニコ 日清オイリオグループ株式会社 渡辺商事株式会社 株式会社大塚製薬工場

<敬称略>

開催目的

本セミナーは、KTBC ツールを用いて、対象者を包括的に支援するための基本事項や展開方法が理解できることを目的として開催します。また、支援のスキルアップが図れるよう、講義・グループワーク・実技演習などを組み合わせて実技指導を行います。

KTSM 実技認定者(講師・アドバイザー)一覧

<敬称略>

氏名	所属	職種(摂食嚥下に関する資格)
小山珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会® 理事長	看護師 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 KTSM 実技認定者

セミナーサポート一覧

氏名	所属	職種(摂食嚥下に関する資格)
金 志純	社会福祉法風会 東京小児療育病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師 KTSM 実技認定者
石黒 慎一	JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院	看護師
福岡 碧	NPO 法人口から食べる幸せを守る会®	事務員

アンケート集計結果（参加者 30 名、アンケート回答者 15 名）

職種

15

回答	票数	%	
医師	0	0%	
看護師	10	67%	
歯科医師	1	7%	
歯科衛生士	1	7%	
栄養士・管理栄養士	2	13%	
言語聴覚士	0	0%	
作業療法士	0	0%	
介護職	0	0%	
薬剤師	0	0%	
その他	1	7%	

勤務施設

15

回答	票数	%	
病院	7	47%	
施設	0	0%	
診療所	1	7%	
在宅訪問	5	33%	
その他	2	13%	

経験年数

15

回答	票数	%	
1～4年	3	20%	
5～9年	2	13%	
10～19年	5	33%	
20年以上	5	33%	

参加前と参加後で考え方がどのように変化しましたか？

- * KTBC は一時アセスメントでそこから多職種で介入を考えていくものだとわかった。
- * 実際に症例を基に他職種と話し合ってみて実際に患者さんをみていなくても問題点がはっきりわかることがわかりました
アセスメントが足りない部分もお互いに質問し合うことで補え多角的にその患者さんを診ることができるんだなと思いました
- * 考え方は変わりませんが、分析の仕方が明確になりました。
- * チャートのつけかた、考え方がわかった。点数の上がり下がりではなく、どう考え、どうアプローチするのか。ついつい点数にこだわりがちになってしまっていたが、考えるための1つのツールなんだなと思いました。
- * 点数にこだわってしまっている部分があったが、客観的に評価するためのツールであることを再確認できた。また、患者をより良くするための評価であることを理解することができた。
- * なぜ？を自ら考えていく事の大切さを学び、今までは、そういうものだと疑問も持たずに自分の頭で考えてなかったことを反省しました。課題をひとつひとつ洗い出し、原因についての対応を、多くの観点から総合的に見ていく事で、問題解決につなげていく KT バランスチャートの展開方法について、やはり本を読んだだけでは理解が浅く、このグループワークで実際にやってみて分かりました。また、出来ないことにフォーカスせずに、出来る事を強みと捉えて、それをどのように活かしていくか、そこから目を逸らさないことで、必ず進展すると聞き、その事が人を動かす力になるのだと思いました。諦めずにあらゆる事にトライしていこうと思いました。”
- * 今までよりもっと深く見て考えて行動しなければならないと思いました。スプーンの持ち方、ギャジアップの仕方、指導していただいたことは当たり前なことなのですが、考えが全然足りていなかったことを痛感しました。
- * 現場は問題が起こると直ぐに対策を考え出すがそこには原因が必ずある 原因を多角的に探ることで適切な対策が見出せることをいつも頭に置き仕事をするようになりました

セミナーで学んだことをどのように現場で活かしていきますか？

- * 施設に食支援で介入することになっておりチームのスタッフや施設のスタッフ 家族に同じデータとして共有して 他職種会議に繋げていきたいです
- * 胃ろうで在宅介護している私の現場では、まだまだ口から食べる事についての理解が不足しています。(栄養は取れているから、手を煩わせて食べさせなくてもお楽しみ程度で…といったスタンス。)胃ろうと経口摂取の並行方法について、多くの方を巻き込んで、協力体制を作っていきたいと思います。
- * 問題が起きた時 その原因って何だろう と声に出して また 独言のように 発しています KTBC の書籍にはその手段が 記載されていると周知されるよう 伝達しています
- * 在宅、透析の病院の患者さんに評価、チャートをとる。
使い方が間違えていたので、一緒に組んでいる先生に説明し直し、改めて病院でのミーティングに使用したいと思います。
姿勢の改善と背抜きを必ず行い、むせのない状態と、むせさせない口腔ケアをしていきたいと思います。
- * NST 介入に KTBC を活用し、多職種で共有したいと思います。
- * 嚥下カンファレンス、栄養委員会で共有していきます
- * 摂食開始のとっかかりとなる各テストを、Ns サイドでできるよう指導していきたい。

その他、感想

- * また参加させていただくつもりです毎回小山先生の手技や講義に自分の勉強不足を痛感しますがこの場で 一緒に勉強される皆さんと知り合えるたびに皆さんの意気込みに触発され頑張らなきゃと思えますありがとうございました”
- * あっという間の充実した時間でした。今後現場や私自身のアセスメントで具体的に進めていく上で、また困難な場面に直面した際には、セミナーに参加させていただきたいと思います。ありがとうございました！
- * 充実していて時間が足りなく感じました！また参加したいです。
- * 2 回目の参加でしたが、ここにくると小山先生、ファシリテーターの方たちだけでなく、参加者からも刺激をもらえて、日々の仕事の活力になります。ぜひ、また参加させてもらいたいです
- * たくさんの事例も検討させて頂き、とても貴重な機会となりました。
- * 小山先生の講義、指導を直接受ける事ができて、本当にありがとうございました。口から食べる事に対する先生の真摯な姿勢に実際に触れることができ、本で読んでいた以上の凄さを感じました。それを忘れずに、微力ながらも、学んだ事を周囲に伝えていきたいと思えます。セミナーでは、短い時間に盛りだくさんの内容で、介入方法の実技の時間が少なかったのがちょっと残念でした。昼食時間を用いて、普通食で良いので、ベッドでの姿勢や車椅子での食事姿勢など希望者には演習に当てても良かったのかなと思えますが、休憩時間が無くなりますね…。今回はバランスチャートの展開がテーマだったので、仕方なかったと思えますが、具体的な介助方法についての基礎講座も、またあると嬉しいです。ありがとうございました。
- * また、必ずセミナーに参加していきたいと思えます。小山先生のおっしゃることは至極当然のことですが、それが全然出来ていない、わかっていない自分が情けなかったですが、それよりも向学心が上になって時間を見つけてやっていきたいと思えました。

セミナーの様子



KT バランスチャート®を用いた事例展開を学習しました！



短い時間でしたが実技指導も行いました





皆様、ご参加いただきありがとうございました！

